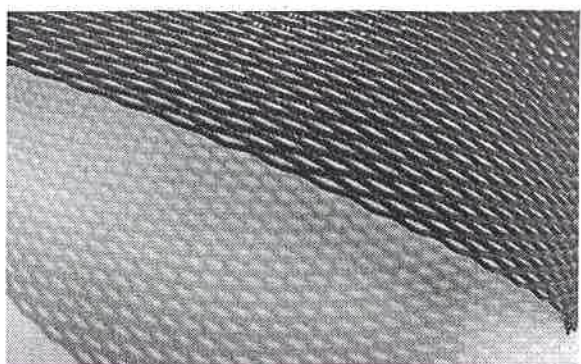


ツシユ

と開発

向け拡販

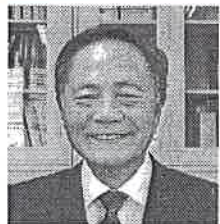


ラインアップで開催されるフィ
ンター展に同製品を出
展予定。

政商親和会 4月上旬の市況動向

鉄鋼学園産技短大の姉崎特任教授

文科省より科学研究費受給 「現場力向上へのリカレント教育研究」で



元住友金属工業（現日本製鉄）社員で、現在は鉄鋼学園産業技術

短大（兵庫県尼崎市）の特任教授を務める姉崎正治氏（76）が、「製造業の現場力向上へのリカレント教育の研究」で2019年度から3年間、文部科学省から250万円の科学研究費を受給することが決まった。

姉崎教授は、1958年（昭33）に住金・和歌山製鉄所（教習所）に入社。同社から産業技術短大（当時は鉄鋼短大）へ第3期生として派遣された後、住金の総合技術研究所などで活躍し、2003年（平15）に退職。

その後、大阪大学・人間科学部の研究員として研究を重ね、住金に在職中に東京大学で取得した工学博士に加え、阪大からも人間科学博士の学位を取得するなど旺盛な意欲で研究を続けてきた。16年（平28）からは産業技術短大機械工学科・特任教授に任用さ

れ、後進の指導に携わってきた。そうした自らの経験を踏まえて、製造現場力向上のためのリカレント教育のあり方について体系的な研究を重

ねたいとして研究費を申請し、今回認められた。姉崎氏は「権威ある科学研究費補助金に選定されたことは、リカレント教育の重要性を

認めてもらったことでもあり、大変うれしい」と決意を語っていた。

2月の引抜鋼管生産 2カ月連続減、1万ト

西部鋼管協組

西部鋼管製造協同組合は、加盟11社の2月引抜鋼管生産実績をまとめた。全体では、1万418トとなり、前年同月比2%減。2カ月連続で前年実績を下回った。前月比では11.8%増の2桁増となった。内訳は、溶接管が7892トで前年同月比5.1%減、継目無管が2526トで同9.2%増となった。

【普通鋼・構造用】
▽溶接管 7859 (8284) △継目無管 1920 (1689) △小計 9779 (9973)
【同・配管用】
▽溶接管 0 (1) △継目無管 106 (99) △小計 106 (100)

【同・その他】
▽継目無管 11 (1) 【同・小計】
▽溶接管 7892 (8318) △継目無管 2248 (2025) △小計 1014 (10343)
【特殊鋼・構造用合金鋼】
▽継目無管 226 (235)

【同・機械構造成炭素鋼】
▽継目無管 52 (37) 【同・小計】
▽継目無管 278 (272) △継目無管 132 (195)

大ス協野球大会
5月より開催
大阪ステニス流通協会は、5月18日より第36回親善軟式野球大会を兵庫県西宮市の浜甲子園運動公園で開催する。

ト戦および順位決定戦を行い、1部の下位3チームと2部の上位3チームを翌年度入れ替える。初参加のチームは2部から参戦する。日程は6月15日までの計5日間を予定。参加資格は、会員企業の正社員のみで構成

2月の近畿公共工事動向

請負金額6割増 大阪は2.5倍

は少ない。ただメーカ一
の価格優先の販売姿勢
が変わらず、相場は

全日本特殊鋼流通協会大阪支一
部は、6月2日にはがねの日記
ルとやチャイコフスキーなどの
念ファミリーコンサ
曲を演奏。参加者が指揮者を体